

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	阿桜園 放課後等デイサービスさくらっこ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年6月23日		令和7年7月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	・個別支援計画書の内容について職員間で周知され、理解されたうえで日々の支援を行うように努めている。	・職員間でも認識の面で相違がある場合もあるため、今後も毎日の打ち合わせや定期的な会議の中で周知を図り、共通理解のもと支援できるように努めていく。 ・ご利用者様、ご家族様のニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう個別支援計画の立案を行います。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	・帰りの送迎時には、体調面や利用中の様子、支援の経過等について報告している。	・今後は、定期的な面談を定着させながら情報共有を図り、ご利用者様、ご家族様との信頼関係の構築に努めていく。
3	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	・1か月間の活動内容と職員の分担を決め、活動の内容は担当者が提案し進めていく形式としている。事前に打ち合わせを行い、他の職員にも内容の周知を図り協力体制を整えている。	・今後も同様の形式を進めることを基本としながら、ご利用者様が楽しめる内容の検討に努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	・各種研修について掲示する等の情報提供は行ったが、対面式の研修については、必要性を感じながらも立案に至らず、結果的に実施できなかった。	・早い時期に研修の内容を検討し、日程調整等を含め計画していく必要がある。
2	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	・HPやインスタグラムにより、日々の活動の様子を発信することに努めていたが、定期的な更新が難しかった。	・活動の様子について定期的に発信できるように、役割分担等の方法を検討していく。
3			